

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名						
心理学・コミュニケーション						
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名	実務経験		
鍼灸学科・昼間部	1年	前期・集中	小野寺 哲夫	○		
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数
基礎分野	科学的思考の基盤人間と生活			座学	2	20
科目概要						
鍼灸臨床現場で患者に適切な対応ができる能力を養うために、心理学やコミュニケーション技術を学び、それらの知識と技能を身に付ける。						
目標						
一般目標(GIO) 本講義を学習することで達成されるべき目標		患者のニーズを的確に把握し、患者から信頼されるような専門職業人になるために必要不可欠な対人援助理論、心理検査法、各種心理療法の理論と実際を含む全般的な臨床心理学に関する知識とスキルについて習得する。具体的には、対人援助技法としての傾聴技法や共感技法に加えて、患者のモチベーションを高めるための技法などのカウンセリングスキルを身に付ける。				
到達目標(SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)		①臨床心理学の主な理論についての知識を説明できるようになる。 ②クライエントの様子や言動を観察して、その性格や心理状態を推論できるようになる。 ③臨床現場で使えるカウンセリング技術について述べるようになる。 ④カウンセリング技術を使って適切にコミュニケーションすることができるようになる。 ⑤各種心理療法についての正しい理解と知識について説明することができるようになる。				
本講義を履修するにあたっての必要な予備知識としては、大学で使用されている心理学の教科書程度の一般心理学の基礎知識があることが望ましいが必須ではない。本講座では、鍼灸師として成功していくために必須であると考えられる自己理解・自己分析を、心理テスト等を使用して行っていただくので、「自分に向き合い、自分自身を見つめる」ことを、ぜひ最大限活用していただきたい。						
教科書・参考書						
教科書：小野寺哲夫(著)『テキスト臨床心理学 ver.2.0』(JFA/パブリッシング)3000円(税込) 参考書：小野寺哲夫(著)『臨床に活かすコミュニケーション(改訂版)』1500円(税込)						
受講上の注意						
この授業では、与えられた知識を憶えるだけでなく、自ら感じ、考え、行動できることが求められます。課題に対する学びを深めるために、クラス全員で協力して共に学び合えるように努めてください。加えて、授業の最後に、毎回、振り返り等のための1～2行程度のミニレポートを実施します。なお、参考書は希望者のみ購入してください。						
成績評価方法						
評価方法	定期試験 <small>(小テスト (チェックテスト))</small>	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)		80			20	100
成績は2回(前期・後期)のレポート課題で評価しますが、毎回の授業のとき数行程度のミニレポートを実施します。						
回数	臨床心理学の総論			教科書	教材・持ち物	
第1回	臨床心理学の総論			P1～5	筆記用具	
第2回	心理学と臨床心理学の違い心理学の流れ等			P40～42	筆記用具	
第3回	フロイト精神分析学①人格理論			P43～45	筆記用具	
第4回	フロイト精神分析学②自我防衛機制			P46～47	筆記用具	
第5回	対象関係論①クラインとウニコット			P48～49	筆記用具	
第6回	対象関係論②ボウルビー愛着理論			P49～55	筆記用具	
第7回	心理アセスメント①:総論(質問紙法・投影法)			P56～57	えんぴつ	
第8回	心理アセスメント③:心理検査の実施			P62～66	筆記用具	
第9回	ロジャーズのカウンセリング理論①セラピストの3条件			P67～76	筆記用具	
第10回	ロジャーズのカウンセリング理論②傾聴スキルと「十分に機能する人間」とは			P68～70	筆記用具	
第11回	交流分析(TA)① エゴグラム			P77～87	筆記用具	
第12回	交流分析(TA)② ストロークとゲーム分析			P85～87	筆記用具	
第13回	認知行動療法(CBT)① 総論			P88～89	筆記用具	
第14回	認知行動療法(CBT)② アセスメントシート			P92～96	筆記用具	
第15回	認知行動療法(CBT)③ 応用			P90～91	筆記用具	
第16回	森田療法① 森田正馬の生涯ほか			P111～116	筆記用具	
第17回	森田療法② 森田療法の鍵概念			P111～116	筆記用具	
第18回	解決志向フリーセラピー①フリーセラピーの20の基本的原則(前提)			P134～142	筆記用具	
第19回	解決志向フリーセラピー②フリーセラピーの基本的原則(前提)と質問技法			P134～142	筆記用具	
第20回	催眠法と自律訓練法:催眠の正しい理解と基本的練習			P143～153	筆記用具	
実務経験と本講義との関連について						
平成14年神奈川県藤沢市教育委員会学校教育課所属小学校訪問相談員として藤沢市内の5つの中学校と14の小学校に関わり4年間、平成20年文部科学省認定臨床心理士資格取得後、スクールカウンセラーとして、神奈川県海老名市(8年)、大和市(3年)、鎌倉市(3年)の小中学校にて、児童・生徒、保護者、教員の相談、およびカウンセリング、管理職に対するコンサルテーション等に従事してきた。2020年には国家資格公認心理師を取得。以上の現場での実務経験を踏まえて、事例やエピソードも交えて実用的な講義が行われる。						
メールアドレス						
onodera-t@nihonisen.ac.jp						